

グラフで見る東海経済(2021年12月)

2021年12月24日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~持ち直しの動きがみられる

【今月のポイント】

- 生産(10月)は、4ヶ月ぶりに増加。持ち直しの動きがみられるが、部品調達難による輸送機械の生産調整の影響により依然低水準。
- トヨタ自動車の国内生産台数は、12月以降も部品不足で工場が停止となるなど計画通りの回復とはなっていないが、内外需要の底堅さを背景に持ち直しの動きは続くとみられる。
- 個人消費は、10月の緊急事態宣言の解除以降、小売販売が増加となるなど持ち直しの動きがみられる。
- 住宅投資は前年比での増加が続くが、水準は横ばい。

項目	現状
景気全般	持ち直しの動きがみられる(↑)
生産	持ち直しの動きがみられる(↑)
輸出	持ち直しの動きがみられる
設備投資	持ち直しの動きがみられる
雇用	横ばい圏で推移している
賃金	弱い動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる(↑)
住宅投資	横ばい(↓)
公共投資	弱い動きがみられる

注: ()内は前月からの変化の方向

景気全般は、「持ち直しが一服」から上方修正(↑)

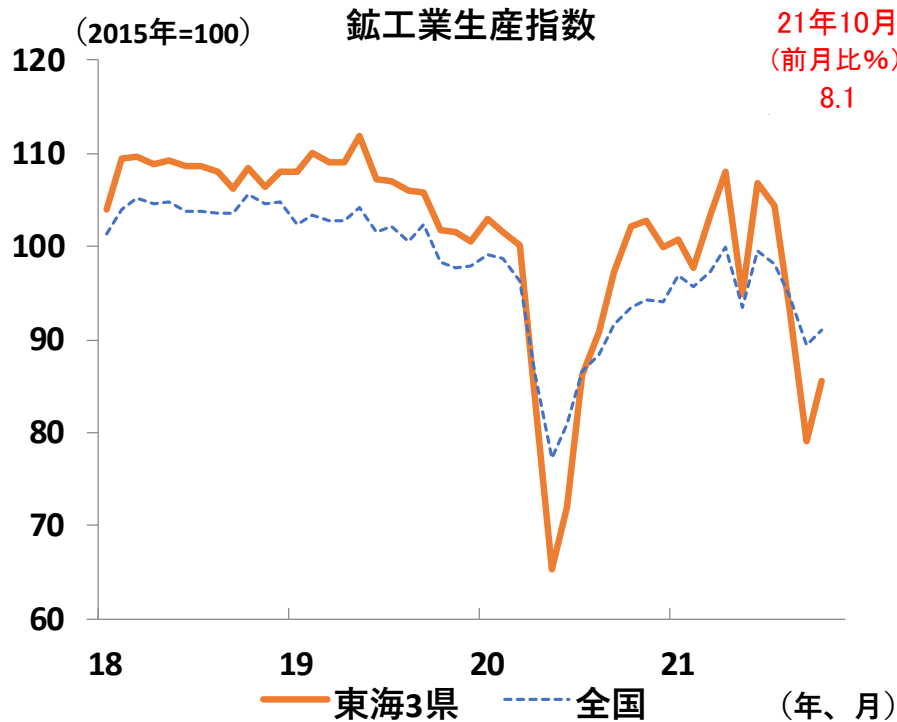
生産は、「足踏み状態」から上方修正(↑)

個人消費は、「弱含んでいる」から上方修正(↑)

住宅投資は、「持ち直しの動きがみられる」から下方修正(↓)

生産

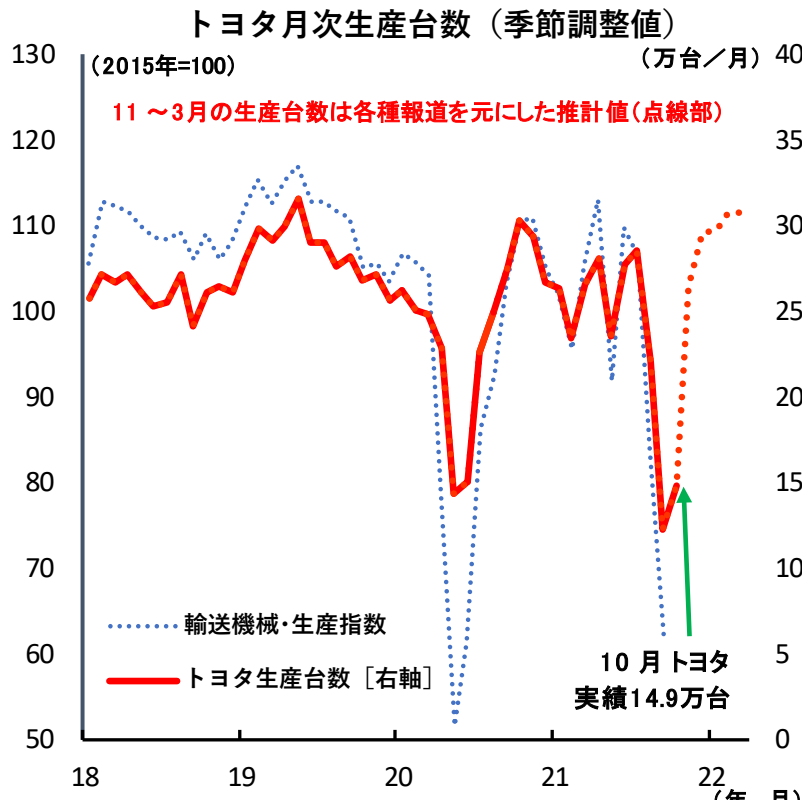
10月の鉱工業生産(東海)は前月比+8.1%と4ヶ月ぶりに増加した。部品不足で生産調整をおこなっている輸送機械が増加に転じたほか、主だった業種が増加した。輸送機械の先行きについては、トヨタ自動車の生産計画によると、9月をボトムに持ち直しに転じ挽回が見込まれているが、引き続き工場停止もある模様。東海の生産全体については、自動車の復調にあわせて持ち直しが見込まれる。



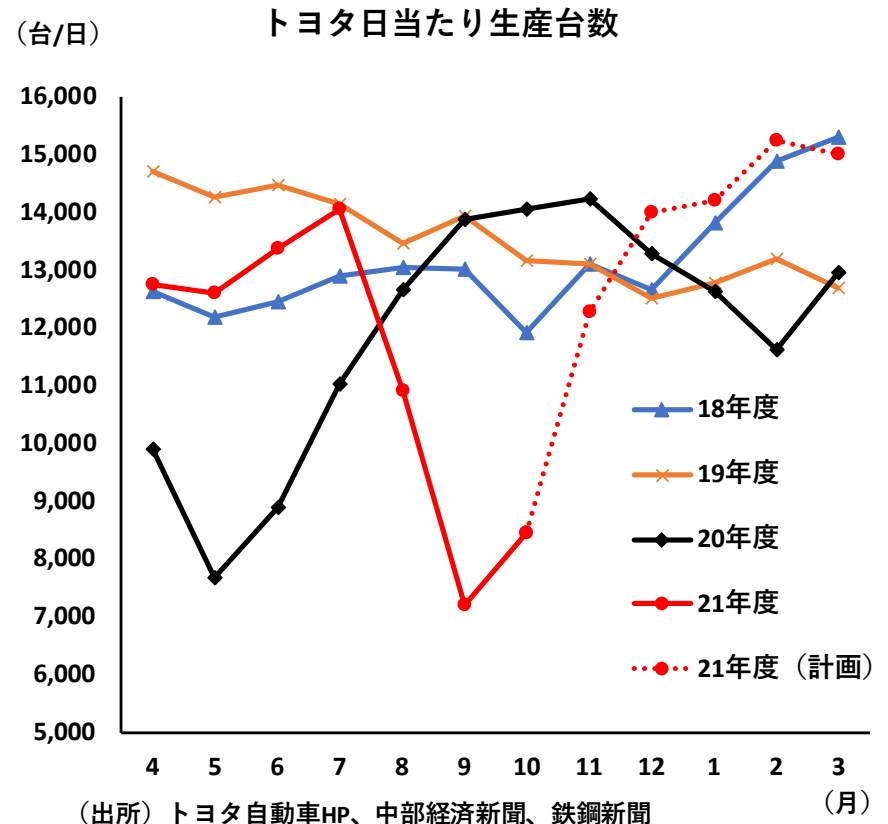
(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ生産計画）

10月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は14.9万台と、アジアでのコロナ感染拡大による部品調達難により低水準となった。トヨタ自動車の国内生産台数は、12月以降も部品不足で工場が停止となるなど計画通りの回復とはなっていないが、内外需要の底堅さを背景に持ち直しの動きは続くとみられる。



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
 (出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」



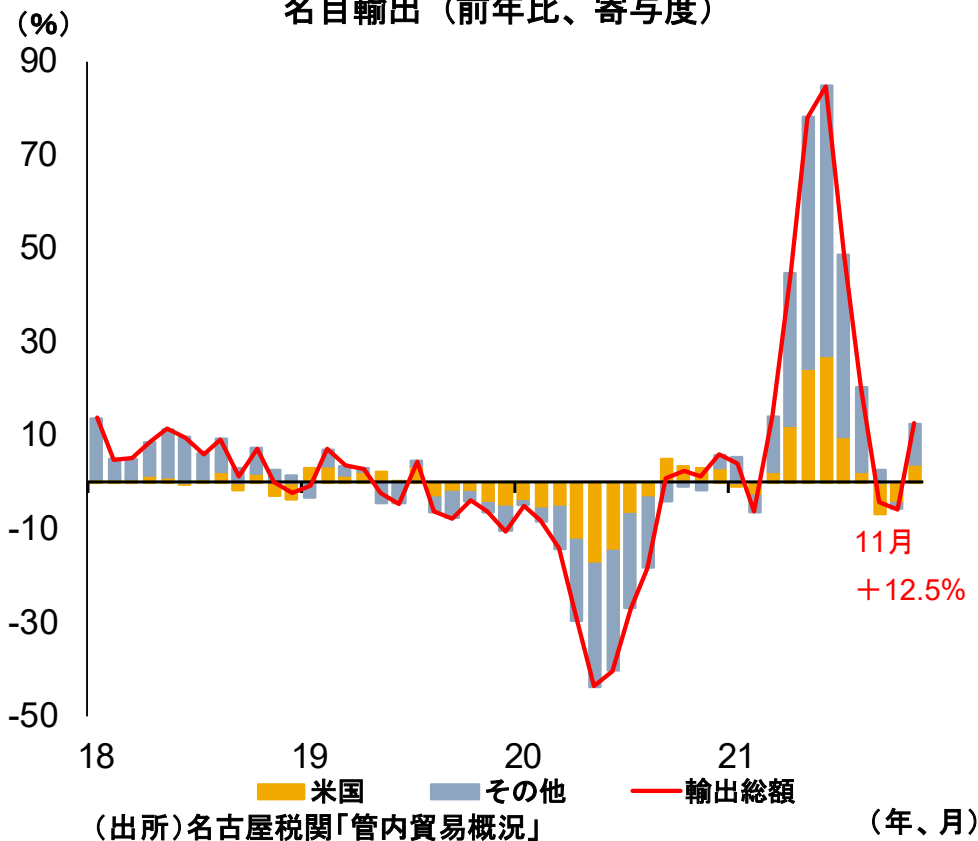
(出所) トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

輸出

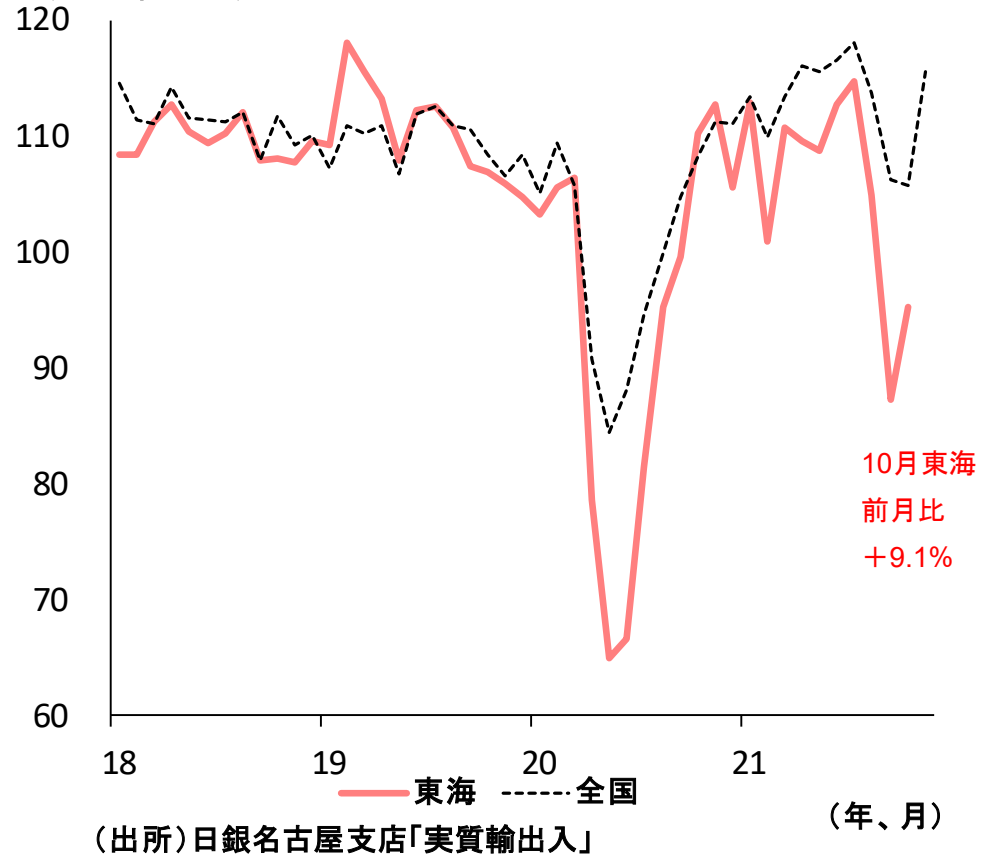
11月の名目輸出額は、前年比+12.5%と3ヶ月ぶりに増加した（一昨年比では4ヶ月ぶりに増加）。地域別では米国向けが3ヶ月振りに、アジア向けが9ヶ月連続で増加した。品目別では部品不足による生産調整で9月に大幅減となった自動車と同+3.5%と増加に転じた。

10月の実質輸出指数（季節調整値）は前月比+9.1%と3ヶ月ぶりに上昇した。

名目輸出（前年比、寄与度）



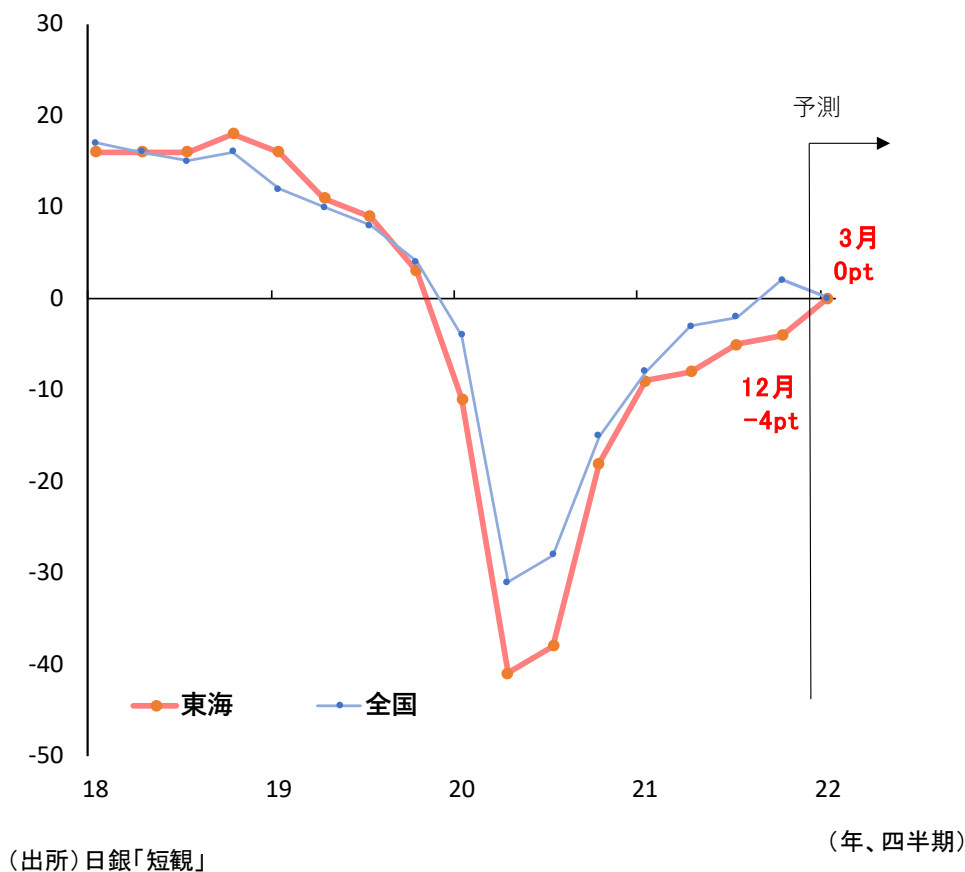
(2015年=100) 実質輸出指数(季節調整値)



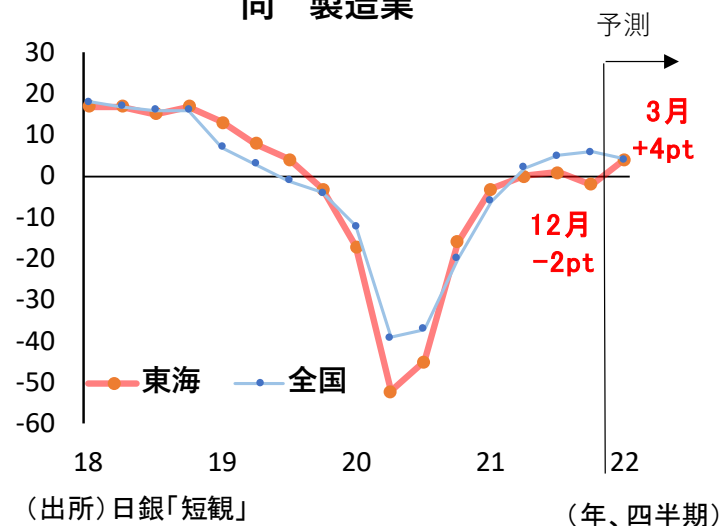
企業景況感(日銀短観)

日銀短観12月調査の業況判断DIは全産業で-4ptと9月調査から小幅改善した。製造業は-2ptと小幅悪化して「悪い」超に、非製造業は-7ptと「悪い」超ながら改善したが、宿泊・飲食サービスなどは厳しい状態が続いている。先行きは、製造業、非製造業とも改善が見込まれている。

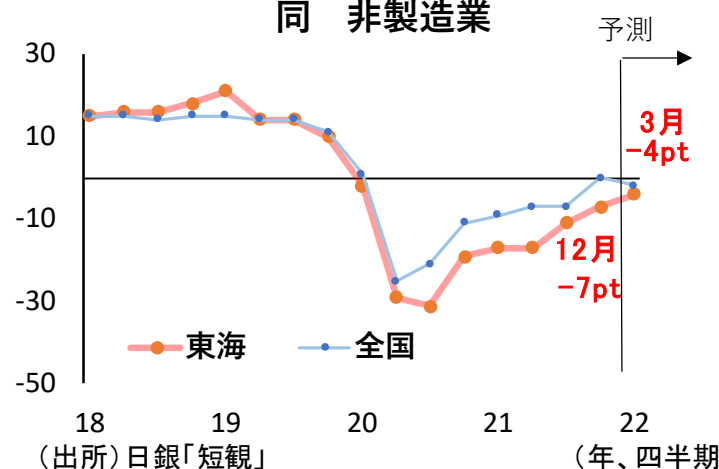
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

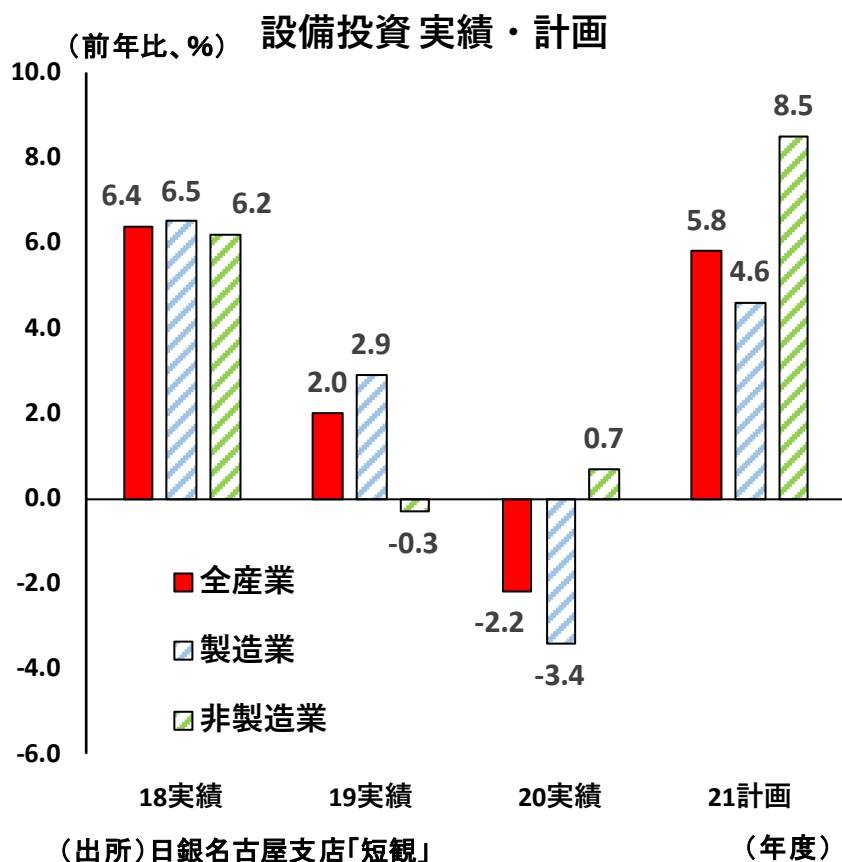


同 非製造業



設備投資

日銀短観12月調査によると、21年度の設備投資計画は、製造業が前年比+4.6%と9月調査時から小幅上方修正、非製造業は同+8.5%と下方修正となった。業種別では、対事業所サービス、不動産などで大幅増が見込まれている。



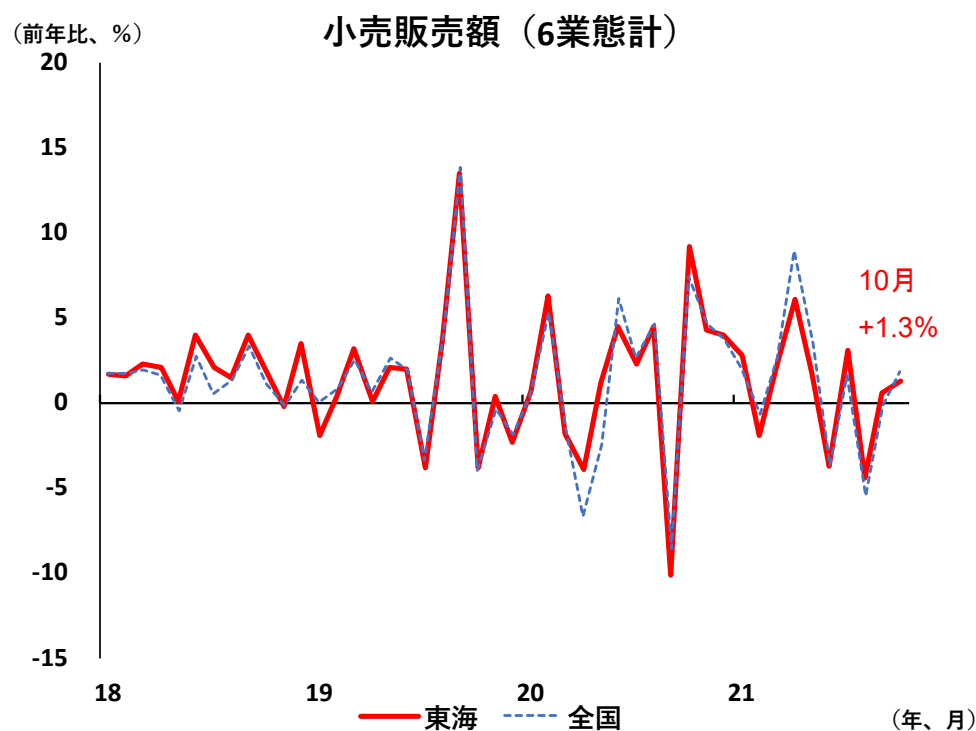
設備投資額（前年比%）

	20年度実績	21年度計画	
		今回調査 （前回調査との差異）	前回調査
全産業	-2.2	5.8 (0.2)	5.6
製造業	-3.4	4.6 (0.4)	4.2
非製造業	0.7	8.5 (-0.5)	9.0

個人消費(小売売上、自動車販売)

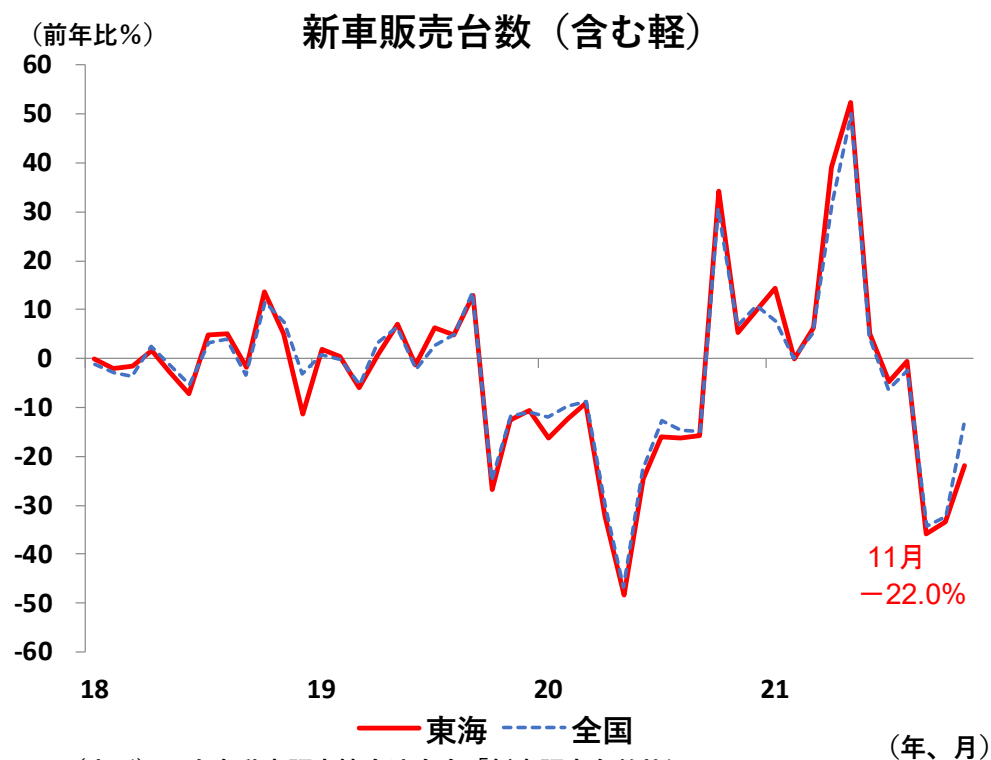
10月の小売販売額は、緊急事態宣言が解除されたこともあって前年比+1.3%と2ヶ月連続で増加した。一昨年比でも、比較対象月が消費税率引き上げ直後で低水準であったことから+10.6%と増加した。

11月の新車販売は、部品供給不足による生産調整により前年比-22.0%と5ヶ月連続で減少、マイナス幅は縮小したが引き続き大幅減となった。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



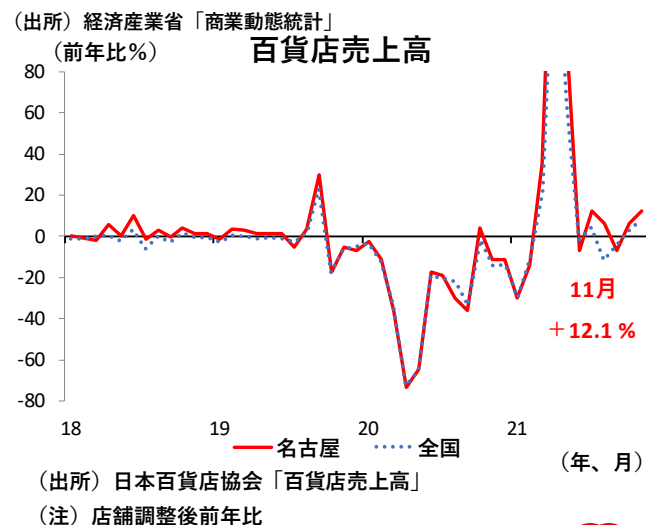
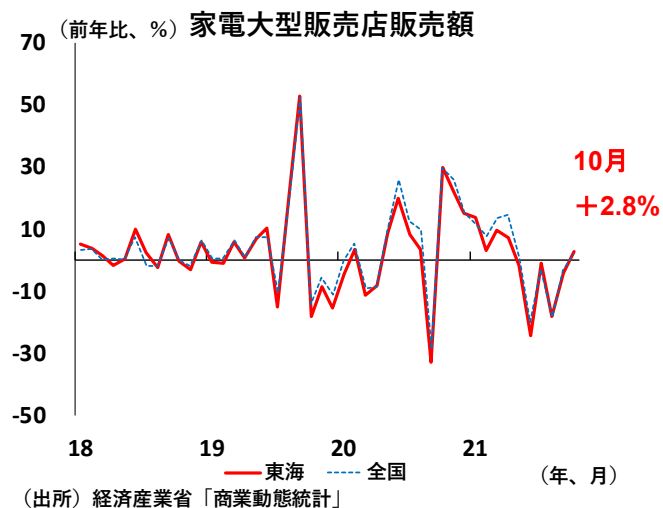
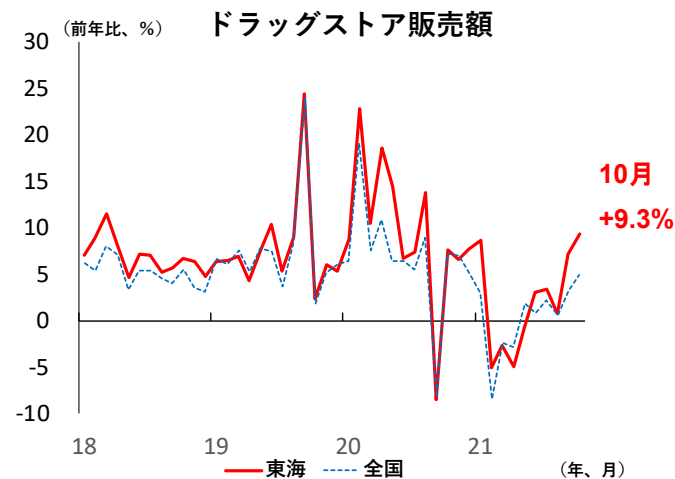
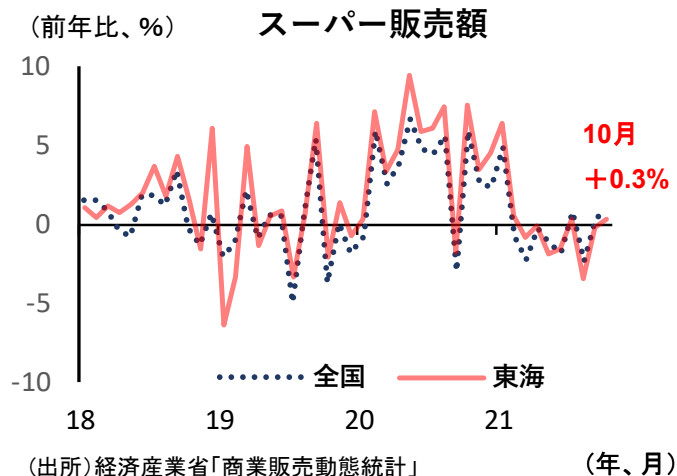
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

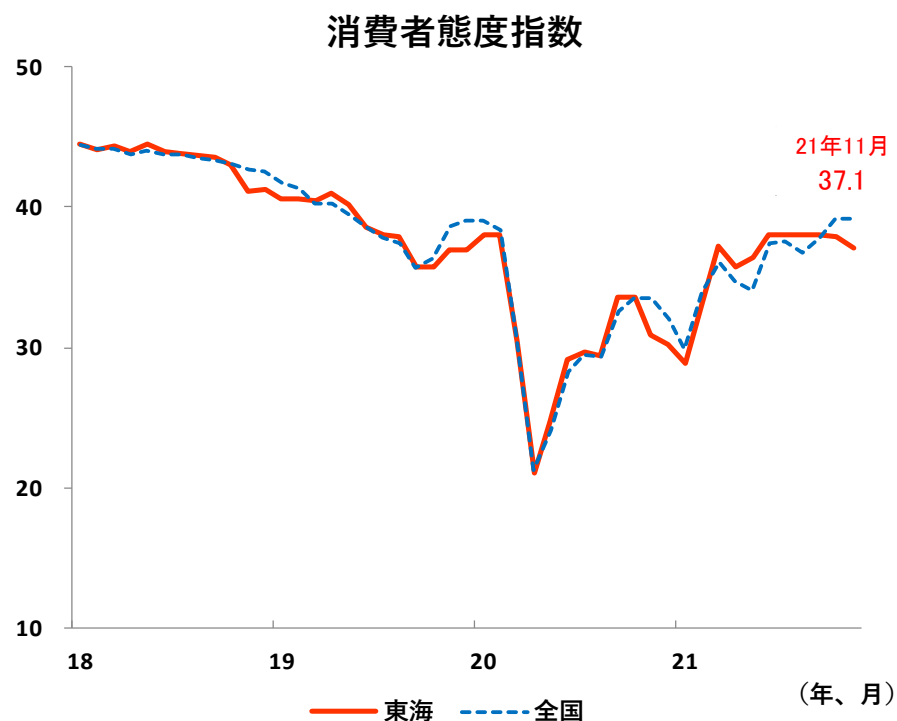
10月の小売販売(東海)を業態別にみると、コンビニを除く業態で前年比プラスとなった。

11月の百貨店売上(名古屋)は、緊急事態宣言解除以降に人流が増えたこともあり、前年比+12.1%と2ヶ月連続で増加したが、一昨年比では同-0.4%と減少となった。

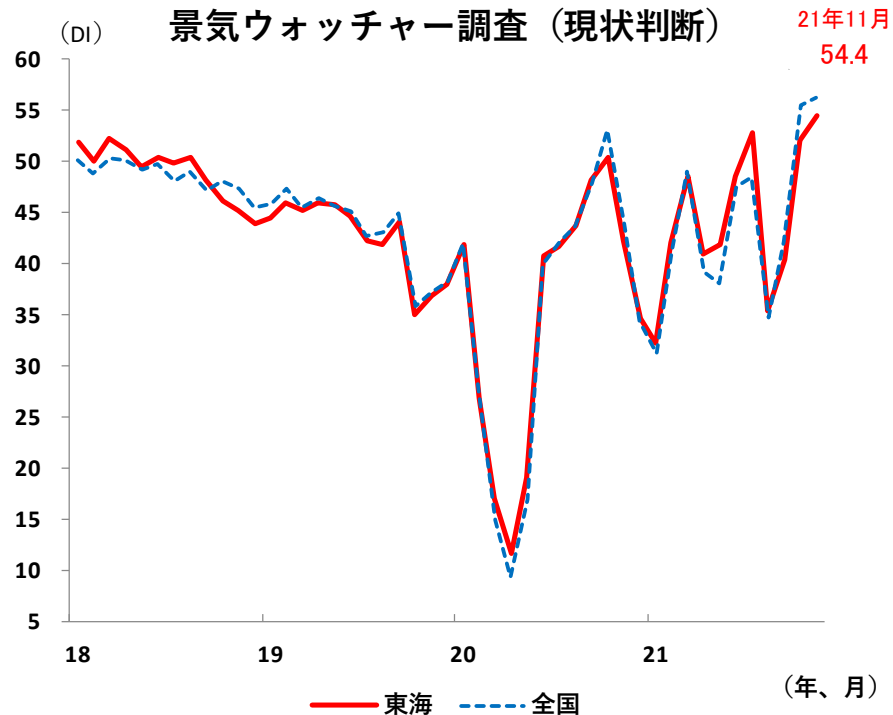


マインド・景況感

11月の消費者態度指数は37.1と前月から小幅低下し、おおむね横ばいで推移している。
11月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、54.4(前月差+2.3%pt)と3ヶ月連続で上昇した。10月の緊急事態宣言解除後、人流が増加していることから景況感の改善が続いているが、改善ペースは落ち着いてきている。



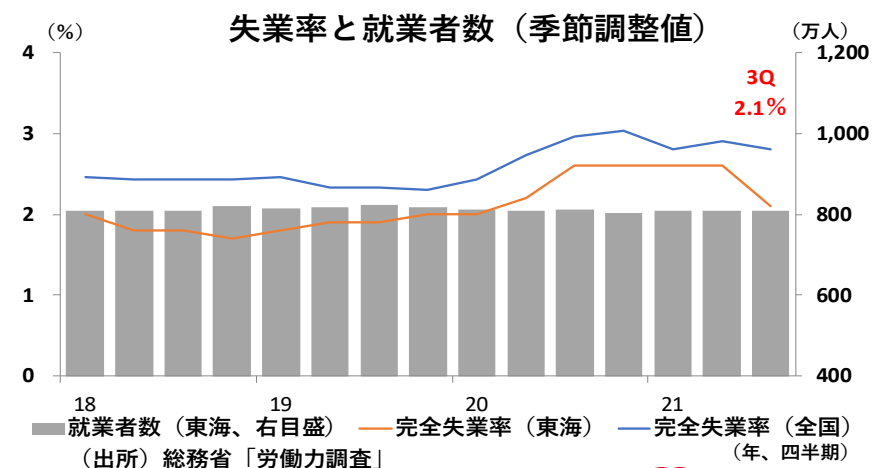
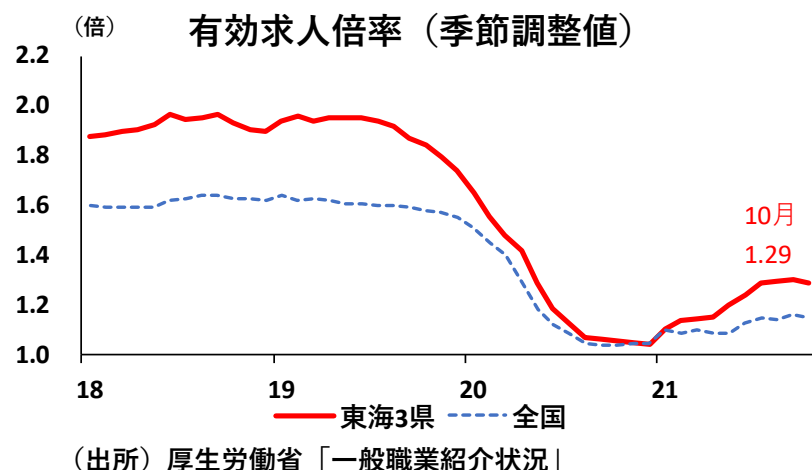
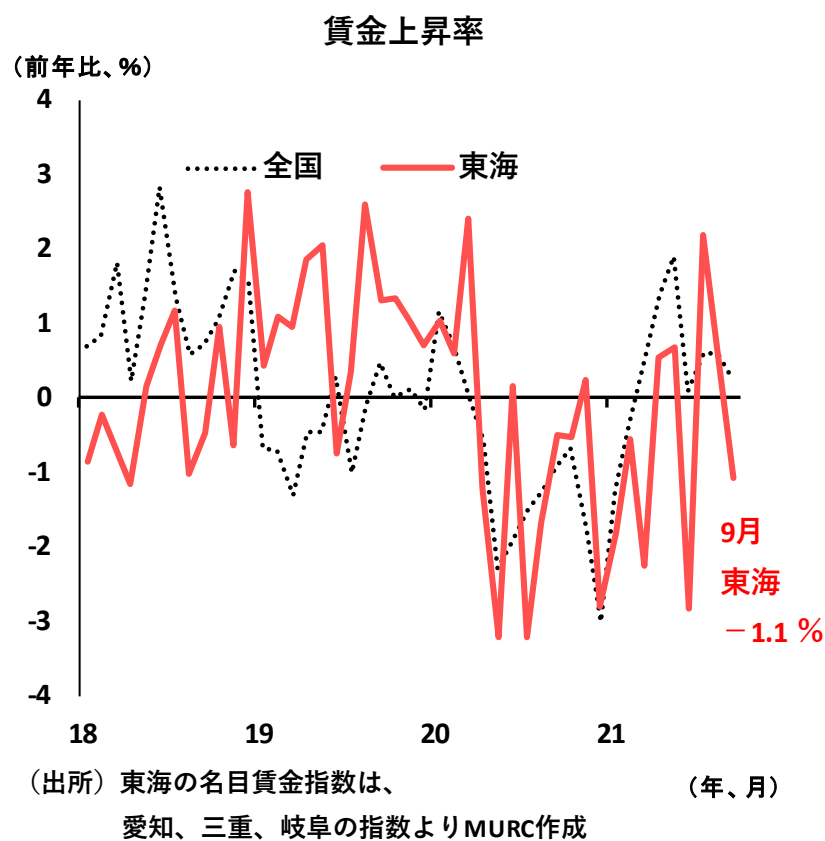
(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

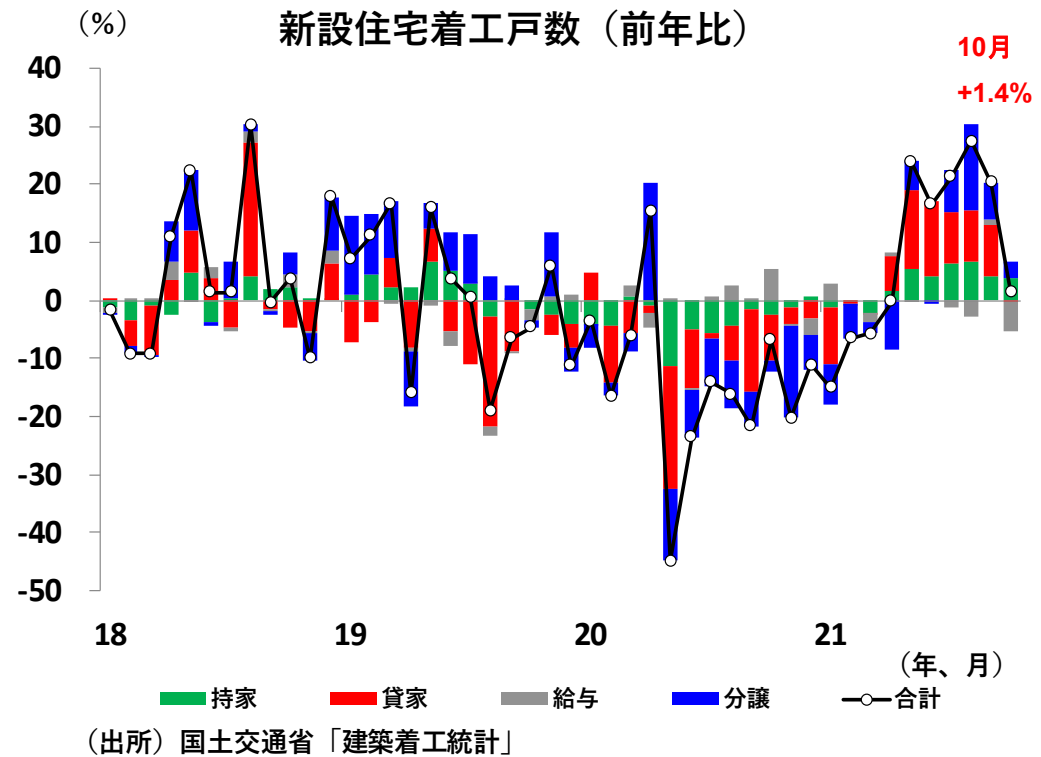
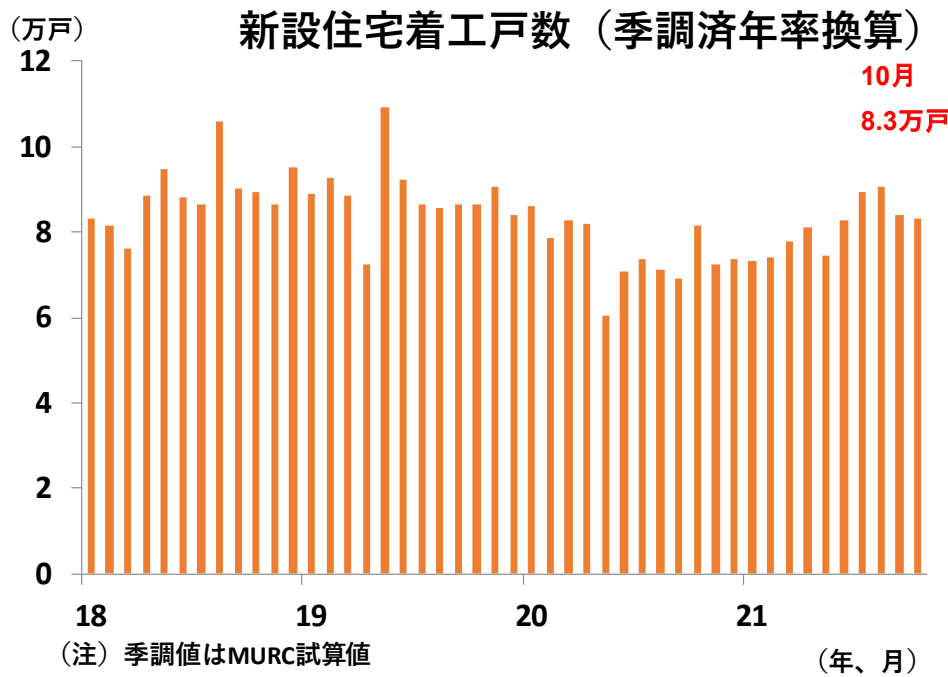
賃金・雇用

9月の名目賃金は、前年比-1.1%と3ヶ月ぶりに低下した。自動車の減産もあって愛知県の給与が減少した。
 10月の求人倍率は1.29と前月とほぼ同水準であった。
 21年7-9月期の失業率は2.1%と低下。就業者数は、ほぼ横ばいとなった。



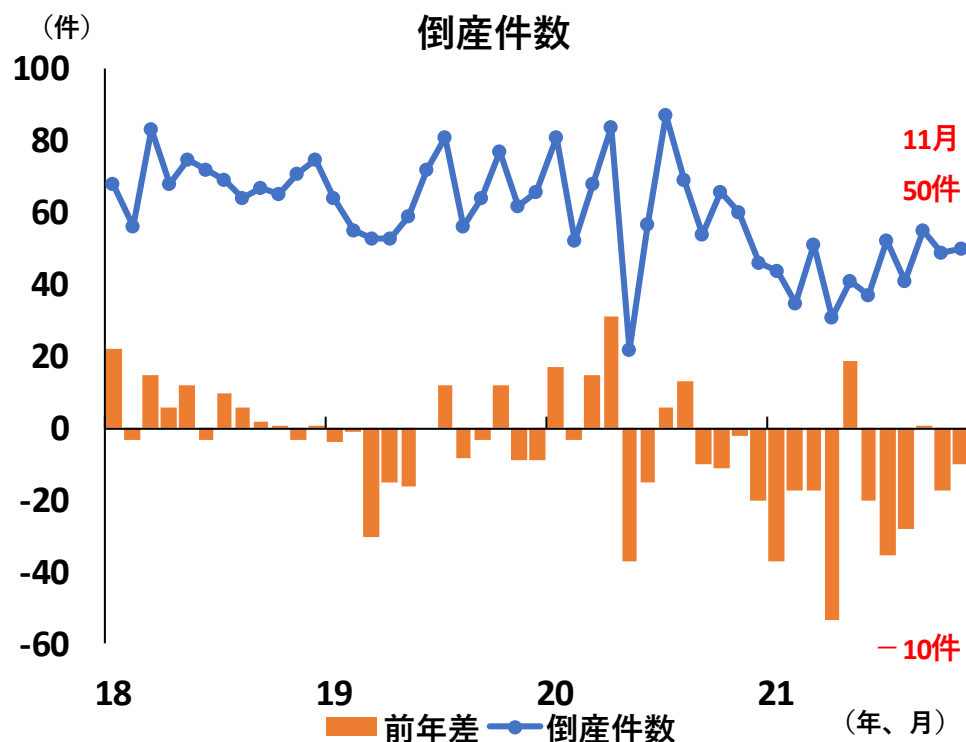
住宅投資

10月の住宅着工は季調・年率で8.3万戸と2ヶ月連続で減少した。前年比では+1.4%と6ヶ月連続で増加したが増加幅は縮小、貸家が減少に転じた。



倒産

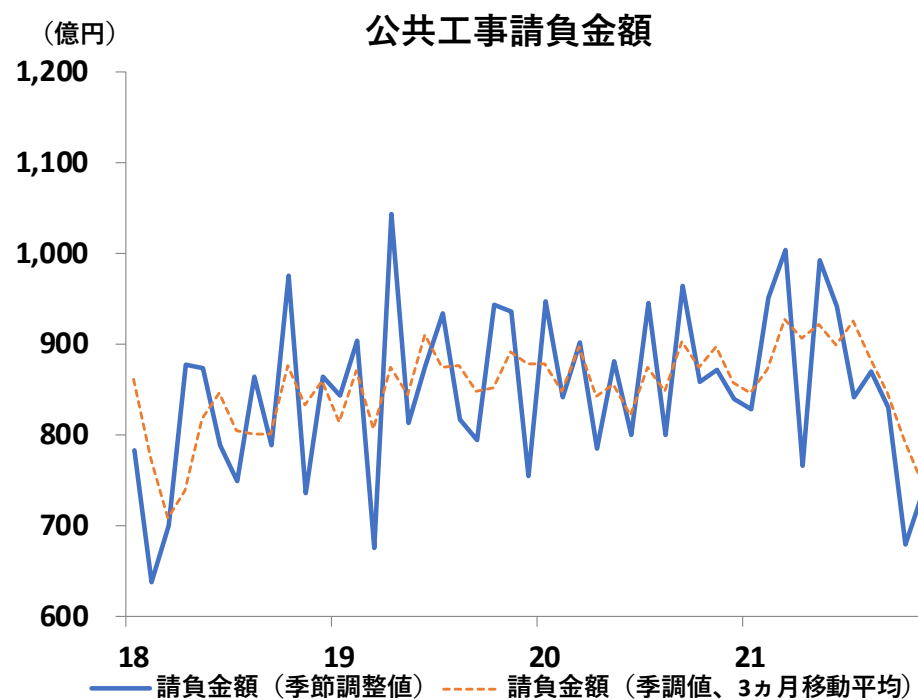
11月の倒産件数は50件と前年を下回り、低水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共工事請負金額は弱い動きがみられる。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください